

ほうふ

Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

しぎかい 市議会 だより No.74

令和6年9月1日

市庁舎の歴史を紹介 No.3 昭和56年当時の市庁舎

昭和56年5月に市役所南庁舎(現4号館)が完成しました。現4号館庁舎は令和7年1月に新庁舎が完成した後、令和7年中に解体予定です。



6月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P9
視察報告	P10

パブリックコメント実施結果	P11
総務委員会所管事務調査	P11
9月定例議会の予定	P12



議会中継及び録画映像がスマートフォンで見られます! [防府市議会](#) 🔍



議会中継はこちら

令和6年 6月 定例議会

6月定例議会は6月13日から7月3日までの会期21日間の日程で開催されました。

市長から「一般国道二号台道・鑄銭司拡幅の新規事業化について」「熱中症対策について」の行政報告があり、令和6年度一般会計補正予算をはじめ市道路線の認定、財産の取得、工事請負契約の締結及び一部変更など議案25件、報告16件、承認1件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」はP3をご覧ください。

議会の議決前に入札執行

補正予算のうち、小・中学生の登下校時による熱中症対策で支給する冷感タオル購入経費について、市が議会の審議、議決前に入札を執行していたことが判明しました。議会では、不当な対応で「議会無視、議会軽視の行為」として抗議しました。

これを受けて、能野英人副市長が「あってはならないことで大変申し訳ありません。改めて審査、議決をいただいで対応します」と謝罪。入札は白紙となり、再入札が行われました。

予算

令和6年度一般会計補正予算

補正予算は4,500万円を増額し、補正後の予算総額を596億500万円とする予算案が提出され、可決しました。
※事業内容は、下記のとおりです。

登下校熱中症対策事業

2,300万円



冷感タオル



サンシェード

登下校時の熱中症対策として、小・中学生に冷感タオルを支給。また、登下校を見守っていただいているみまもり隊の方々へ、冷感タオルと帽子に後付け可能な日除けサンシェードを支給します。

学校活動、保育活動等熱中症対策事業

2,200万円



屋外活動時の熱中症対策として、小・中学校にミストシャワー等を整備するとともに、保育園等にはミストシャワーなどの設置経費を補助（1園当たり20万円）します。

Q&A

一般質問



6月定例議会では、17名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、9月に会議録を製本予定ですので、市役所1号館1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



野島、向島の振興策。子どもたちの保健の向上。
市職員の職場環境の向上

河村 孝 (公明党)



問 野島、向島は、高齢化や人口減少が急速で、空家が増加し、里道など生活基盤の維持も困難になっている。持続可能で、安心して住み続けられるために、また、定住人口と交流人口の増加のために対策が必要。

市長 将来を見据え、地域の皆様の声もお聞きし、さらなる活性化に向け、次期総合計画に反映する。

問 学校での健康診断結果で、受診勧告を受けているが、受診していない家庭がある。本年10月の高校生までの医療費無償化開始を契機に、受診を促す周知を、三師会等とも連携し、本市として強化すべき。

教育長 各種健診の結果を保護者に通知し、夏休み等

を利用しての受診を積極的に働きかけ、個別の対応を行う。関係機関や学校保健会等と連携し、医学的助言を学校へ情報提供。保健こども部と連携し、10月からの医療費無償化のお知らせを活用し呼びかける。

問 市職員が、安心して職務に専念できるよう、名札の名字だけの掲載や顔写真廃止、ナンバーディスプレイや録音機能の電話機への搭載等が必要。また、柔軟な働き方や効率化のため、デジタル環境の向上が必要。

市長 名札は、職員の意見も聞き、顔写真削除や苗字のみの表記にすること等を検討しており、10月から変更。新庁舎の電話機は、ナンバーディスプレイ機能を搭載し、必要な録音設備を確保。新庁舎では、ネットワークを無線にし、パソコンをノート型に更新する。



防災対策について

安村 政治 (自由民主党)



問 防府市では、昨夏に連日の大雨の影響から向島で土砂災害が発生したが、各関係機関が連携、協力し、迅速な復旧ができた。これから、ますます市民の防災に対する関心が高まる中、市の防災対策は。

市長 2009年7月の豪雨災害を受け、翌年から始めた防災ラジオは約2万台が普及。避難所となる学校や公民館に、防災倉庫を整備した。そして、自主防災組織の結成支援や防災士の育成も進めてきた。こうした市民の防災意識の土台があって、激甚化する災害に対応できる力が備わる。

本年度から防災行政無線の内容を短く、端的に伝える文言に変更。災害の種類ごとに開設する避難所を明確化

し、即時開設する体制を整えた。デジタル技術を活用し、複数のハザードマップを重ねて閲覧できるシステムも導入した。新しい防災リーフレットは7月に全戸配布する。

土砂・津波災害の警戒区域内の住民にはプッシュ型の防災講座を進めており、対象の7千世帯には防災ラジオを無償貸与する。子どもの意識を高めるための「子ども防災士」の育成や防災キャンプにも取り組む。

国道2号台道拡幅の事業化で、山陽道とのダブルネットワークが強化されるとともに、玉祖地域に立地する広域防災広場や県立総合医療センターは、さらなる防災力強化につながる。メバル公園(新築地町)や市公会堂(緑町1丁目)北側に整備する防災広場も活用し、強固な防災ネットワークを築く。



昨夏の向島土砂災害



・市の熱中症対策について
・開発行為に伴う公園等の設置基準緩和について

梅本 洋平(自由民主党)



問 日本全国で熱中症による緊急搬送、死亡者数が増加傾向にあり、ここ近年では死亡者が1,000人を超える年が頻発している。国においては熱中症対策を強化するため、気候変動適応法が改正され、本年4月に全面施行された。市の熱中症に対する考え方と対応を伺う。

市長 熱中症は命に直結する問題「新たな自然災害」と考え、小中学校普通教室へのエアコン一斉設置、武道館やサンライフ防府体育館へのエアコン設置経費計上など危機感を持って対応している。今年度は国の基準をさらに強めた防府市独自の基準を定め、対策を強化していく。昨年より運用している「涼み処」をさらに増やし、「市

内どこでも涼み処」を目指す。新たな対策として、小中学生・みまもり隊の方々へ冷感タオルを支給するとともに、小中学校・保育園・幼稚園等にミストシャワー等を整備することとし、必要な予算を計上した。

問 都市計画法では、宅地に一定の水準を確保することを目的として、開発区域の面積が3,000平方メートル以上の開発行為にあつては、原則として、開発面積の3%以上の公園等を設置することとしているが、都市計画法一部改正により開発広場の設置基準の緩和が可能となっている。市においても検討してはいかがか。

市長 他市の様々な対応を踏まえ、市では開発広場をしっかりと使っていただけるように一定規模以上の広さの開発広場を整備した場合、市が直接管理をするといった制度を検討している。基準、導入時期については関係者のご意見を伺いながら検討していく。



大平山山頂公園について! ◆学校給食について!
◆市職員のメンタルヘルス等について!

山田 耕治(絆)



問 大平山山頂公園の施設整備計画は?

市長 3年間で整備。大平山の木材で遊具を設置する。

問 ホームページで設置状況等を掲載し、PRしては?

土木都市建設部長 公開していきたい。

問 山頂公園で花火等の禁止行為があると聞かすが、管理やルール面での対応は?

市長 駐車場の利用時間を午後5時から翌日の午前9時まで禁止。併せて防犯カメラで一定の効果が出ている。

問 山頂公園へ行くまでの農道の適切な維持管理を。

市長 新たな遊具の増設に伴い、より安全に通行出来るよう維持管理する。

問 海の公園は「メバル公園」の愛称だが、山頂公園もキッズパークとして愛称募集をしては?

市長 愛称募集も検討する。

◆学校給食について!

問 ミネラル豊富な県内産の天然塩を給食センターで使用しているが、自校式でも推進すべきでは?

教育長 自校式でも天然塩の使用を呼び掛けていく。

問 ミネラル豊富なきび砂糖の使用を推進しては?

教育部長 検討していきたい。

◆市職員のメンタルヘルス等について!

問 カスハラ対応で防犯カメラを設置しては?

総務部長 必要箇所には設置する。

問 若手の職員の意見も聞き、職員の名札はひらがなの苗字だけにしては?

総務部長 意見も聞き、新たな名札に切り替える。



がんばる地域応援事業について

石田 卓成(日本の再独立を目指す会)



問 本年度より新たに立ち上げた事業であり、失われた地域の共同体を回復できる素晴らしい取り組みだと考えているが、執行部としては、この事業の目的と、事業によって目指すべき姿を、どのように考えているのか。

市長 法定外公共物の維持管理だけでなく、地域が抱える様々な課題の解決に結び付けられると考えている。地域の活性化に繋がることを期待したい。

問 現時点で、どのような地域課題の相談があったのか。

市長 5月末までに34件の相談があり、申請のあった26件の全てで交付を決定した。内容は、法定外公共物の維持管理に関するものが21件、自治会の情報伝達

アプリ導入が4件など。既存の事業で対応できたために、申請に至らなかったものもあった。

問 今後、いわゆる「たらい回し」は無くなるのか?

市長 地域振興課及び各出張所が相談の窓口になる。最初に相談を受けた窓口が責任を持って適切かつ迅速に解決に繋げるようにする。

問 今後の事業内容の見直しは?

市長 市民の声を聞いて成長していく事業だと考えているので、しっかりと対応したい。

要望 人手不足で、できない時は、市が主導して、シルバー人材センターとの連携を促して欲しい。また、この新規事業のことをご存じで無い方も多いため、活用事例について、市広報やSNS等を使って、しっかりと周知をして欲しい。来年度に向けて、予算上限枠の拡大や、新規だけでなく継続して行う取り組みも支援するよう見直して欲しい。



農業振興と介護人材の確保について

宇多村 史朗（自由民主党）



問 「農政の憲法」とされる「食料・農業・農村基本法」が令和6年5月29日に改正された。折しも県農業総合技術センターとやまぐち農林振興公社、そして防府市農業公社との地域の担い手育成に向けた3者協定が締結された。この3者協定の取り組みを市として、どのように支援し、またどのように活かして、防府市の目指す土地利用型農業を推進していくのか。

市長 農地の集積や担い手の確保育成を促進するため、充実した支援を行っている。これらの支援により新就農者が直近3年間で12名。連合体の設立による営農法人の規模拡大や圃場の整備など、防府市が目指す

土地利用型農業に向けた取り組みを進める。

問 介護は我々が高齢化社会を生き抜く上で欠かせないサービス。その提供者である介護保険事業者が人材を確保できないという状況が喫緊の課題となっている。ハローワークでの求人に対し応募が少なく、日本人の採用は困難となっている。外国人技能実習生を受け入れ、人材を回しているが円安が逆風となり、実習生の確保も難しくなっている。市単独での人材確保支援を継続審議されたい。

市長 市として、小中学生の職場体験学習やインターンシップの拡充、若い世代に介護の魅力や、やりがいについて伝えていく。介護予防事業を進め元気な高齢者を増やす取り組みを進める。関係団体と連携しながら介護人材の確保に取り組み、人材確保のための処遇改善について、国へ要望していく。



手話言語条例の制定を！ 校則の見直し・学校生活の紫外線対策

田中 健次（市民クラブ）



問 手話に対する差別的な事例をなくし、手話言語の理解を深めるため、県と県内7市で手話言語条例の制定がされた。防府市も条例制定すべきではないか。

市長 令和4年に手話だけでなく障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解を促進することを目的としたコミュニケーション条例を施行した。手話については、手話奉仕員養成講座、ケーブルテレビ番組「ほうふホットライン」での手話通訳表示のほか、市の



手話通訳者を1名増員し、3名体制で窓口対応をしている。

問 校則の見直しについて、宇部市ではガイドラインを策定し、児童・生徒が主体となり、ゼロベースの見直しを実施した。防府市でも取り組むべきではないか。

教育長 今年3月にガイドラインを策定した。児童・生徒が主体的に取り組めるよう、各学校を指導する。

問 プールでの日焼け止めクリームの使用など、学校生活での紫外線対策はどうなっているか。

教育部長 水着の上に着用し紫外線を防ぐラッシュガードの使用を許可し、日焼け止めクリームは、保護者からの相談に応じて使用を許可している。

問 日焼け止めクリームの使用は、学校だより等を通じて保護者に周知してほしい。

教育部長 対応していく。



天神町銀座商店街アーケード周辺エリアのまちづくりについて

河杉 憲二（自由民主党）



問 天神町銀座商店街は、空き地や空き店舗が増えてきている。またアーケードもかなり老朽化が進み安全面からも対策が必要だと思う。この際アーケードの撤去も視野に入れ、新たなまちづくりに取組んではどうか。

市長 商店街のアーケードは、昭和41年に市道上に商店街振興組合によって整備されたが、築後約60年経過し老朽化が進んでおり、安全性の確保のため改修等を文書等をお願いしている。今年度、道路占用許可の更新時期を迎えることから、組合では安全・安心や商業振興の観点から在り方を検討していると伺っている。仮にアーケードが撤去となれば、天満宮に直線でつな

がる参道で、観光にふさわしい道である。

プリズムストリートと併せ、アーケード周辺エリアの商業振興に資する民間投資の後押しとなるまちなかにふさわしい道となるよう、地元や商工会議所等のご意見を伺いながら整備したい。

要望 駅周辺では、駐車場の整備また旧駅北公有地やマンション建設など開発が進んでおり、まちが動き出して来ている。

隣接している天神町銀座商店街のアーケード周辺においても、今後とも官民一体となって賑わいの創出・まちづくりに鋭意取り組んでいきたい。



天神町銀座商店街

**1歳児健診の導入、不登校児童生徒への支援、防災トイレの充実**

高砂 朋子(公明党)

**問** こども家庭センターの具体的な取組は。**市長** 市出生数は令和5年は777人、前年比14人増。支援策が一定の成果を出している。子育て支援団体等とのネットワークを活用し、子育て世代のニーズに応じた多様な教室や講座、情報交換会を開催。情報発信も。**要望** 流産や死産を経験された方への対応、支援を。**問** 予てより必要性を訴えてきた成長、発達のチェック、疾患の早期発見につながる「1歳児健診」の導入を。**市長** 親の不安解消、子どもの事故予防、健診と同時に「はしか」の予防接種もできることから、導入に向け、医師会と協議、調整している。**1.健康寿命促進対策の現状と今後の対策について
2.環境衛生の推進について**

村木 正弘(公明党)

**問** COPDとは、世界の死因第3位、日本の男性の死因第9位にあげられ、肺の炎症性疾患で、肺の生活習慣病と言われている。COPDの患者数と早期発見の市の取り組みについて。**保健子ども部長** 厚生労働省の人口動態統計によると、COPDによる死亡者数は、令和4年に全国で16,676人、山口県では244人となっている。死亡率は全国で人口10万人あたり13.7であるところ、山口県では18.8、全国で2番目に高い。早期発見、早期治療のためには、周知が必要。9月のがん征圧月間のイベントの中で「COPDの啓発コーナー」を設置。COPD集団スクリーニ**病児保育について**

清水 力志(日本共産党)

**問** 病児保育事業の現状は。**市長** 2002年度から小児科医院に委託して開始。利用者は21年度は953人、22年度は638人、23年度は850人。**問** 病児保育の利便性向上と拡充をお願いしたい。**市長** 施設ではできるだけ多く預けられるようにするとともに、感染症ごとに区切るなどの対応もしている。**問** 民間企業に看護休暇制度などを設定して理解を求めていくことも必要ではないか。**保健子ども部長** 県と連携して、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを促していく。**問** バス・タクシー運賃助成制度について、運転免許**問** 一人一人に光を当て、誰も置き去りにされないよう不登校の児童生徒に対する更なる支援が必要では。市内2校のステップアップルーム(県事業)の拡充要望を。**教育長** 社会的自立のための取組や学校復帰のための心理的援助、相談業務を行っている。今後も一人一人にあった支援に努める。ステップアップルーム拡充を県へ要望して参りたい。市としても何ができるか検討したい。**問** 広域防災広場、公会堂北防災広場の災害時の機能として、マンホールトイレの設置等、トイレ環境も視野に入れた整備を行っていただきたいが。**市長** 防災ネットワークの最重要拠点である広域防災広場や市街地の防災拠点となる公会堂北の防災広場にマンホールトイレを整備する。**◆その他の要望**

市営住宅の保証人廃止の検討を。

ング質問票をがん検診、イベントや健康相談、健康講座での活用を検討する。

問 飼い主のいない猫の苦情件数は。**市長** 実証実験を始める前の苦情件数は令和元年度64件、令和2年度79件、令和3年度89件、実証実験を始めた令和4年度60件、令和5年度30件と減少傾向。**問** TNR活動に係る猫不妊去勢手術費補助金の申請状況**市長** 令和4年度216件、令和5年度217件、予算額満額を交付。**問** 来年度以降のTNR活動に係る猫不妊去勢手術費補助金制度に対する現時点での考えは。**市長** 一定の効果があると考えている。引き続き、市民の皆様の快適な生活環境を確保するため、関係団体や地域の皆様からの意見を伺い、今年度の状況も踏まえ、しっかりと対応していく。

証を持つ高齢者にも対象を広げて頂きたい。

福祉部長 この制度は運転免許の返納を促す制度でもあり、引き続き高齢者の移動手段の確保と運転免許証返納を進めていく。**問** 山口市のように高齢者のバス運賃を市内一律100円という制度を新設してはどうか。**福祉部長** 65歳以上のアンケートでは、移動は自動車とタクシーの利用が多いという結果が出ており、現行の制度はニーズに合った制度だと考えている。**問** 市職員の早期退職者が全国的に増加しているが、防府市の現状と対策は。**総務部長** 防府市でも増加傾向にある。やりがいを持って安心して働ける職場づくりを進め、達成感を感じることができるよう組織目標を明確にしたり、研修の充実を図るようにしている。



**防府が台道に整備する企業団地を
いっぱいにするために！**

松村 学（防府一番）



問 防府に進出したい企業がたくさんいるが、工場を建設する用地がないとよく聞く。その中で、市が台道4車線化の国の事業決定を契機に台道の適地に企業団地を造成することを決断された。アクセスも良く素晴らしいことであるが、現在、探されている方のための対策は？

市長 次期総合計画で目指すまちづくりが実現できるよう、都市計画を見直して対応する。

問 企業団地を整備する決断を契機に地元企業も含めて、工場や倉庫など建設しやすくなるよう、市独自の支援拡充、助成制度は出来ないか？

市長 最大の企業立地優遇策は道路や港湾のインフラ

整備が重要と考える。現在ある市の誘致制度と県の企業立地促進補助金を適用できるような企業を県と一体となり誘致したい。

要望 市の誘致制度は製造業しか使えなく、たくさんの業種が使えるようにして欲しい。県の補助金は大企業でないと使えなく、ハードルが高いので、地元企業でも手軽に使える支援制度を市で考えてほしい。

問 県と連携し、企業にDMやPRを積極的に行い、その反響に見合う規模や区画数を整備して欲しいが、どうお考えか？

市長 令和8年からなるべく早く整備したいと考えており、引き合い状況によっては区画の見直しも柔軟に対応し、山口県をけん引するような優良企業の誘致を目指す。県と一体となり、情報の発信をしていく。



**新庁舎の新たな機能
持続可能な農業の実現**

藤村 こそえ（自由民主党）



問 来年1月から供用開始する市役所新庁舎は、県施設や文化センター、市社会福祉協議会など、多くの行政施設が集約化され、来庁者も増える見込み。どのような機能、市民サービスが新たに提供されるのか。

市長 最上階の展望回廊では素晴らしい眺望を市民の皆さんに楽しんでほしい。子どもたちには社会見学に来てもらい、今と未来の防府を学び、考えてもらえるよう案内プレートを設置する。ルルサス防府と同規模の多目的ホールも整備し、陳澄波氏の絵画のレプリカも展示する。1階の窓口はワンストップ化を進める。2階の福祉窓口では、福祉棟の市社協との連携も強化、個別の課題

にきめ細かく対応する。全国有数の複合型庁舎として、防災の一大拠点でもあり、ふさわしいサービスを提供し、日本一の市役所となるよう職員一丸となって取り組む。

問 華城地域で昨年5月、植松環境保全会が発足し環境整備に取り組んでいるが、今後市として、どのように持続可能な農業の実現に取り組むのか。

市長 華城地域では「集落の農地は集落で守る」の考えの下、法人の設立やほ場整備などの準備も進めておられ、計画の具体化を期待するとともに、市としても支援したい。華城はブランド野菜の栽培が盛ん。地元の食材をふんだんに使った学校給食の提供など、地域ぐるみで子どもたちに農業の魅力を伝えることが将来の担い手育成につながるのではないかと考える。

提言 次世代に美しい故郷を残すのは今を生きる私たちの使命である。



**全面的な改修は次期総合計画に盛り込みたい
7年度は照明改修・向島運動公園テニスコート**

三原 昭治（絆）



問 向島運動公園にあるテニスコートのうち、特に山側コートはいたみがひどく、安全面などから対応が望まれているが、全面的な改修についての考えは。

市長 コートの人工芝の張り替えなどの全面的な改修については、令和8年度からの次期総合計画の策定において、スポーツ施設全体の改修方針を決めていく中で、関係者の意見なども聞きながら検討していく。コートの応急的な修繕は、その都度行っていく。

問 コートにあるフェンスにぶら下げられている時計は、施設職員が毎日取り付け、取り外しているという状態で、公共施設にふさわしくない時計は、防府市の

イメージダウンになることから対応を考えるべきでは。

市長 より視認性の高い時計の設置を、令和7年度に改修を予定している夜間照明のLED化改修に合わせて検討する。

問 宅地造成の開発行為にともなって、設置が義務化されている開発広場の維持、管理はどのようになっているのか。

土木都市建設部長 開発許可の事前協議で開発業者が維持管理を行うことになっており、分譲後は団地の住民が維持管理を行う条件で開発を許可している。

問 開発広場の維持管理が行き届いていない箇所が多く見られるが、時代にあった維持管理の対応を考えるべきでは。

市長 十分な維持管理は出来ていない状況にあるが、時代にあった維持管理を考えていきたい。

**観光振興について
自治会について**

吉村 祐太郎(自由民主党)



問 以前要望した地域おこし協力隊のような良い意味での「若者」「よそ者」の方が観光の情報発信に取り組みされている。インバウンドが回復し、9月から「瑞風」も来訪するが、この好機における観光振興の取り組みを伺う。

市長 4施設とのポスター等、今までの様々な施策の効果もあり昨年の観光客数230万人台とピークに迫る回復をしている。この現状に満足する事なく毛利氏庭園内のWi-Fi設置やイオンとアスピラートの間の高架下を「みずかぜ広場」として開放し、またクルーズ船の誘致実現を図るなど観光コンベンション協会と一体

となって取り組んでいく。

要望 今後観光客が増えた後に活気があるまちにする為にチャレンジショップの導入を要望する。

問 自治会の入会・脱会に強制力はあるのか、また脱会後の生活ゴミの収集方法について伺う。

総合政策部長 自治会の入会・脱会に強制力は無く自由であるが市としては加入の促進に努めている。

生活環境部長 防府では原則として個別収集は行っていないのでゴミステーションの利用について自治会としっかり協議していただきたい。

問 自治会との協議がうまくいかない事はあったのか。

生活環境部長 現在把握している限りない。

**1 通学用かばんについて**

和田 敏明(正論)



問 昨年度と同様に令和6年度、約1700万円もの税金が費やされた通学用かばんの利用実態は。

教育長 利用率 全体の18.5% (参考:令和5年度18%)

問 実態調査前に「支給のかばんに登校するように」促すなど、利用率向上のために児童を犠牲にして満足か。

教育長 各学校の対応については把握していない。

意見 通学用かばんを目的外に使用させることは政策の失敗を児童に無理押しすることであり許されない。

問 提案理由に経済的負担軽減とあり、市販のランドセルを購入された児童数の調査を要望してきたが結果は。

教育長 調査していない。

問 税金を費やして進めた以上、実態調査は執行部の責務。承認した予算に対して用途や実績などをチェックするのが議会の役割。なぜ調査しないのか隠ぺいか。

教育長 隠ぺいする気持ちはない。

問 無駄遣いを続けた責任をどのように取るのか。

教育部長 活用されていると考えている。

問 通学するかばんの選択は。

教育長 自由。

要望 支給通学用力バン相当額をお祝い金として支給、その他教材等の支給等、何が必要とされるのかアンケート調査を要望。

【その他の質問】

2 名札について

3 熱中症特別警戒アラート発表後の臨時休業について



通学用かばん

**障がい者福祉施設の
建替えについて**

曾我 好則(自由民主党)



問 令和4年9月議会において、大平園だけでなく、愛光園、なかよし園も含めた3施設を1日でも早く建替えられるよう取組むとのことであったが、現在の取組み状況と今後のスケジュールについて伺う。

市長 現在、現在地に建て替えることを前提に基本計画を策定しており、大平園は、一人当たり床面積を現在の施設基準である9.9㎡以上を確保した個室とし、愛光園となかよし園は、通所施設として効率的な運営や利用者同士の交流可能な複合化とし、様々な課題を抱える利用者には個別対応可能な専用室等を整備する。施設全体では、バリアフリー化、車椅子利用者や

介助者同伴も利用できる広さの浴室やトイレの確保、別棟になっているサービス施設の集約化など、安全快適で充実した環境となるよう計画していきたい。

新たな施設の整備にあたり、現在地での建て替え条件では、3施設の順次建て替えて余儀なくされる可能性もあるが、3施設全てを次期総合計画期間内に建て替えることとし、基本計画の中で施設の規模や配置などを示し、来年度には基本設計を行いたい。

問 3施設同時の建替えを再度お願いしたい。

市長 検討するが、順次の建替えになる場合には、大平園を最優先したい。

問 就労継続支援事業所の工賃が余りにも安いと感じるが、バス代等無料にできないか。

市長 県の工賃向上計画に加え、市でも更なる取組みが必要であり、様々な課題に総合的に取組みたい。

視 察 報 告

総務委員会 (4月23日～25日)

【ロケーション推進事業について (滋賀県甲賀市)】

NHK連続テレビ小説「スカーレット」ロケ地となったことをきっかけにロケーション推進の機運が上昇。令和元年ロケーション推進室を設置、推進協議会を設立し、市民ボランティアエキストラの登録、市民による新たなロケ地候補を紹介、甲賀映画祭の継続実施、ドラマ館の継続運営、聖地巡礼観光客の誘客等に取り組んでおられる。

【変革推進最高責任者 (CXO) 補佐官の登用について (兵庫県宝塚市)】

令和3年7月策定の市行財政経営方針に「外部人材を含めた人材の最大活用」を定め、行政DX推進、セルフマネジメント支援の専門分野の3人をCXO補佐官として任命。職員と1ON1で面談協議、意識改革

に繋がり、ノーコードツール (Kintone) を用いた業務改善やサービスデザインワークショップを起点とした改善の好事例が生み出されている。

【地域防災ステーションについて (大阪府箕面市)】

自治会や地域団体等で構成されている「地区防災委員会」を発足し、防災についての各協議、「防災ステーション」の管理、年1度の防災訓練 (市民一斉) 等を実施されている。箕面市は人口密度が高く、5分圏内の公園等に防災機材を収めた「防災ステーション」を設置。タープテント等の機材は、地域イベント時に使用でき、市民の防災意識向上にも繋がっている。



教育民生委員会 (4月22日～24日)

【地域部活動について (鹿児島県薩摩川内市)】

薩摩川内市では、休日における部活動の地域移行について、適切な運用等の在り方や新たな地域クラブ活動の在り方を示しており、令和8年度の全面展開へ向けて地域移行する学校や部活動を段階的に増やし、休日の部活動においては地域指導者の派遣など業務委託を行っている。また、学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の在り方についても方向性を示している。

【カーボンニュートラル推進事業について (宮崎県都城市)】

カーボンニュートラル推進計画とは「第2次都城市環境基本計画」に掲げる地球温暖化対策に関する施策を体系的にまとめたもの。長期目標として2050年カーボンニュート

ラルの実現を掲げるとともに、市域全体の環境と経済の両立を目指していく。「農林畜産バイオマス」とは、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入促進として、農業残渣や家畜の糞尿等を利用して電気や熱を生み出す技術。昨年度より導入に関して畜産農家にセミナーも行っている。

【市立図書館の特色ある取り組みについて (福岡県筑後市)】

福祉分野など、全く異なる分野との連携を呼びかけ、それを形にできていること。また福祉分野からの新たな提案もあるとのこと。複数の分野の部や課が様々な課題解決に向けて、連携できるようになれば、素晴らしい効果をもたらすことを学べた。



産業建設委員会 (4月23日～25日)

【企業支援の取り組みについて (大阪府東大阪市)】

「人材育成」「高付加価値化」「販路開拓」「企業誘致」等の視点から、企業のモノづくり環境の保護及び創出に取り組んでいる。人手不足等の中小企業が抱える課題の解決を図りつつ、新分野への進出や海外展開に取り組む企業を支援している。

【あま咲きコインについて (兵庫県尼崎市)】

あま咲きコインとは、尼崎市が発行する前払式支払手段である電子地域通貨である。「まちで学ぶ」「行動を変える」「健康を考える」「お買い物」の4カテゴリーに区分される健康づくりや環境に優しい活動・ボランティア活動などSDGsの達成に貢献する活動に参加すると、あま咲きコインが付与される。大手ポイント事

業者と差別化を図り、地域経済を循環させるインフラとしての機能の充実を目指している。

【商店街空き店舗活用事業について (大阪府池田市)】

補助を行っている2つの商店街は学生と連携した空き店舗活用事業を行っている。空き店舗活用事業を前提に対する補助金ではなく、中心市街地の活性化に資する事業を実施した場合に補助している。活用事例として、商店街が学生に空き店舗を改装したコミュニティスペースを開放し、近隣の小中学生に勉強を教えている。また、学生たちが商店街のイベントの準備や片付けに参加、商店街も学生たちのイベントを積極的に手伝っている。



パブリックコメント(意見募集)の実施結果を公表します

議会事務局で行った「防府市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例(案)」に対するパブリックコメント(意見募集)の結果(ご提出いただいたご意見の概要とそれに対する市議会の考え方)を、次のとおり公表します。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

事案	防府市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例(案)
事案の概要	市議会では、太陽光発電設備を設置するにあたり、地域と共生した太陽光発電事業を推進するとともに、市の自然及び生活環境の保全に寄与することを目的として、このたび条例(案)を作成しました。
パブリックコメントの実施状況	意見の募集期間 7月2日(火)～7月31日(水) 意見の提出者数 7人 意見の数 22件
実施結果の公表期間	9月1日(日)～9月30日(月)
閲覧場所等	議会事務局(議会棟)、各出張所、各公民館、ルルサス文化センター、市文化福祉会館、市くらし安全課前閲覧コーナー(1号館1階)、地域協働支援センター(ルルサス防府2階)、市ホームページ ※文書による閲覧は、開庁・休館日等を除きます。
問合せ	問合せ 議会事務局(議会棟) 電話 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

総務委員会所管事務調査

5月10日に、1.「第2次防府市スポーツ推進計画」について、2.「野球場リニューアル記念事業、防府商業高校甲子園準優勝50周年記念事業」について執行部から説明を受けました。

第2次防府市スポーツ推進計画は、令和3年度から同7年度までの5年間、基本理念を「スポーツを通じて地域活性、元気なまち防府」とし、多様な関わりが可能なスポーツを通じて、スポーツの振興、誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる環境を充実させ、スポーツの力を活用した施策を展開することで、交流人口の拡大と地域の活性化を目指しています。

野球場は、7月20日にリニューアルオープン。防府商

業高校夏の甲子園準優勝50周年記念行事として、防府商業高校をはじめ市内高校の甲子園での活躍を紹介。また、市内学童野球12チームが参加する東西対抗学童野球大会を開催。子どもたちによるツタの記念植樹も行います。

主な質疑は以下の通りです。

- 問** 合宿チーム数を目標に掲げているが、PRは。
- 答** 市スポーツ協会、防府観光コンベンション協会のご協力をいただき、各チームの監督、選手の横のつながりで広がっている。
- 問** 長年の防府読売マラソンの取組を生かし、陸上等の選手育成や交流人口の増加を図ってほしいが。
- 答** スポーツ環境をしっかりと提供することによって、選手のパフォーマンス、知名度向上により、交流人口増加にも繋げてまいりたい。

政務活動費の収支報告書の閲覧ができます

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。政務活動費を充てることのできる経費の範囲や使途基準等は、「市議会政務活動費の交付に関する条例」によって定められており、全議員が規定に従って適正に使用しています。

防府市議会では、議員1人あたり年間25万円を政務活動費として各会派に交付しており、毎年年度末には、領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残余があれば返還します。平成29年度以降の政務活動費収支報告書については、閲覧を行い、透明性の確保に努めています。

【閲覧方法】

日時：市役所開庁日の午前9時～正午、午後1時～午後5時
申請場所：市役所議会棟議会事務局
手続：収支報告書閲覧請求書に必要事項を記入

【閲覧にあたっての注意事項】

- ①カメラ、コピー機器、危険物等を閲覧場所に持ち込まないこと。
- ②指定された場所以外では閲覧は行わないこと。
- ③収支報告書は丁寧に取扱い、破損、き損又は加筆等の行為は行わないこと。
- ④音読、談話、飲食等、他の閲覧者の迷惑になる行為は行わないこと。
- ⑤書類の返却の際は、係員の確認を受けること。
- ⑥その他、係員の指示に従うこと。



5月

- 8日 行政視察受入れ（北海道江別市）
- 10日 総務委員会（所管事務調査）
- 31日 太陽光発電に関する条例検討協議会

6月

- 7日 勉強会
全員協議会
- 10日 議会運営委員会
- 13日 6月定例議会開会
議会広報編集委員会
- 19日 本会議（一般質問）
- 20日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 25日 予算委員会（全体会）
- 26日 総務委員会
- 27日 教育民生委員会
- 28日 産業建設委員会

7月

- 3日 6月定例議会閉会
議会広報編集委員会
- 12日 行政視察受入れ（大阪府松原市）
- 16日 議会広報編集委員会
- 25日 議会広報編集委員会

8月

- 6日 全員協議会
- 9日 山口県市議会議員研修会
- 20日 総務委員会（所管事務調査）
- 21日 デジタル推進調査特別委員会
議会改革推進協議会
- 22日 議会懇談会（教育民生委員会）
- 27日 勉強会
- 28日 議会運営委員会

9月定例議会の予定

- 9月2日（月） 本会議（開会）
- 4日（水） 上下水道事業決算特別委員会
- 9日（月） 本会議（一般質問）
- 10日（火） 本会議（一般質問）
- 11日（水） 本会議（一般質問）
- 17日（火） 予算委員会（全体会）
- 18日（水） 常任委員会（総務・教育民生・産業建設）
- 20日（金） 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 24日（火） 一般・特別会計決算特別委員会（教育民生）
- 25日（水） 一般・特別会計決算特別委員会（産業建設）
- 30日（月） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。



なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

「議会だより」は再生紙を使用しています。処分する際は、「雑がみ」として分別収集に出しましょう。

編集後記

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎清水力志 ○曾我好則 青木明夫 今津誠一 久保潤爾 三原昭治

表紙の写真は昭和56年当時の市庁舎です。住民票の交付など、いちばん馴染みのある4号館ではないでしょうか。また、前号の表紙の写真に「懐かしい」というお声も頂きました。市民の皆様からとても愛されていた建物であるということを感じます。

新庁舎建設も順調に進み、11月2日に竣工式を開催。同日午後と翌3日に市民向けの見学会を予定しています。市民の皆様にご親しみやすい議会だよりの発行に努めてまいります。皆様の感想などを是非お寄せください。